

臨床研究「ヒト血液細胞からの心筋細胞直接誘導法の確立」について

筑波大学附属病院循環器内科では、標題の臨床研究を実施しております。

本研究の概要は以下のとおりです。

① 研究の目的

現在、心臓病の治療として心臓再生医療が新しい治療法として期待されており、その開発により将来心臓病になる可能性のある多くの人々が利益を得ることになります。我々はこれまでマウスの動物実験でマウス心臓線維芽細胞から iPS 細胞（人工多能性細胞）を経ることなく直接心筋細胞を作成することに成功しました。我々はこの細胞を誘導心筋細胞（iCM 細胞：induced cardiomyocyte）と名付けました。この iCM 細胞は機能的にも心筋細胞と非常に近い働きをもっていることも確認しました。今回の研究では、ヒト血液細胞から直接 iCM 細胞を作成しその方法を確立することを目的としています。これにより将来的に心筋梗塞、心不全などの心臓病に対する新しい再生医療へと結びつくことが期待されます。

② 研究対象者

2019 年 1 月以降で、つくば予防医学研究センターの人間ドックを受診した患者さん

③ 研究期間：倫理審査委員会承認後～2024 年 12 月 31 日まで

④ 研究の方法

人間ドックを受けるために採取した血液は検査に使用されますが、残った血液がある場合は医療廃棄物として廃棄されます。この研究では、人間ドックの検査後に残った血液を研究用に使用します。これらは通常の間ドックに付随して得られるもので、研究に参加することで患者様の健康に影響が生じるおそれはありません。提供していただいた血液細胞に遺伝子を導入したのち、心筋細胞を誘導します。

⑤ 試料・情報の項目

血液、診療記録（年齢、性別）

⑥ 試料・情報の管理について責任を有する者

家田真樹、筑波大学医学医療系循環器内科、教授

⑦ 本研究への参加を希望されない場合

患者さんが本研究への参加を希望されず、試料・情報の利用又は提供の停止を希望される場合は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。研究が実施される前に同意の撤回があった場合は、試料・情報は供給されません。同意を撤回した場合も患者さんに不利益は生じません。すでに研究結果が公表されている場合など、ご希望に添えない場合もございます。

⑧ 問い合わせ連絡先

筑波大学附属病院：〒305-8576 茨城県つくば市天久保 2-1-1

所属・担当者名：循環器内科 担当：貞廣威太郎

電話 029-853-3143（対応可能時間 平日 9～17時）